



評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2016v1.0 使用評価ソフト: CASBEE札幌2016 (ver.1.4)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)南15条西7丁目MS	階数	地上12F
建設地	中央区南15条西7丁目403-60、-135	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	110 人
建物用途	物販店集合住宅	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
竣工年	2023年2月 予定	評価の段階	実施設計段階評価
敷地面積	712 m ²	評価の実施日	2022年4月1日
建築面積	242 m ²	作成者	
延床面積	2,387 m ²	確認日	2022年4月1日
		確認者	



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 0.6 ★★☆☆☆☆ **B-**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
 ①参照値 100%
 ②建築物の取組み 71%
 ③上記②以外のオンサイト手法 71%
 ④上記オフサイト手法 71%

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 一次エネルギー消費量の評価

建物全体の[BEE][BEIm]= **0.99**

2-5 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア = 2.5

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.4

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 2.1

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 2.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 2.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.6

3 設計上の配慮事項

総合 交通、生活の利便性の高い立地であるため、周辺建物との調和を図った。	A 省エネルギー 設備機器の高効率化を図った。	
B 省資源等 照明器具を全てLEDとした。	C 緑化 鉢植えによる植栽とした。	D 雪処理 前面部駐車場のみ融雪とした。

4 ほかの認証・評価制度の利用

(財)建築環境・省エネルギー機構のCASBEE認証	なし	BELS認証	なし	LEED認証	なし
上記以外の認証・評価制度の利用					

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

CASBEE札幌2016(ver.1.4)
 (仮称)第15条西7丁目MS

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2016v1.0
 ■評価ソフト: CASBEE札幌2016 (ver.1.4)

スコアシート		実施設計段階		建物全体-共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	重点 評価項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み 係数	評価点	重み 係数		
Q 建築物の環境品質								2.5
Q1 室内環境				0.40		-		3.0
1 音環境			3.0	0.15	3.0	1.00		3.0
1.1 室内騒音レベル			3.0	0.50	3.0	0.50		
1.2 遮音			3.0	0.50	3.0	0.50		
1 開口部遮音性能			3.0	1.00	3.0	0.30		
2 界壁遮音性能			3.0	-	3.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	-	3.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-	-	3.0	0.20		
1.3 吸音			-	-	-	-		
2 温熱環境			3.0	0.35	3.0	1.00		3.0
2.1 室温制御			3.0	0.50	3.0	0.50		
1 室温			3.0	0.63	3.0	0.63		
2 外皮性能	省エネ		3.0	0.37	3.0	0.38		
3 ゾーン別制御性			-	-	-	-		
2.2 湿度制御			3.0	0.20	3.0	0.20		
2.3 空調方式			3.0	0.30	3.0	0.30		
3 光・視環境			3.0	0.25	3.0	1.00		3.0
3.1 昼光利用			3.0	0.31	3.0	0.30		
1 昼光率			3.0	0.57	3.0	0.50		
2 方位別開口			-	-	3.0	0.30		
3 昼光利用設備	省エネ		3.0	0.43	3.0	0.20		
3.2 グレア対策			3.0	0.28	3.0	0.30		
1 昼光制御	省エネ		3.0	1.00	3.0	1.00		
2 映り込み対策			-	-	-	-		
3.3 照度			3.0	0.14	3.0	0.15		
3.4 照明制御			3.0	0.26	3.0	0.25		
4 空気質環境			3.0	0.25	3.0	1.00		3.0
4.1 発生源対策			3.0	0.60	3.0	0.63		
1 化学汚染物質			3.0	1.00	3.0	1.00		
4.2 換気			3.0	0.40	3.0	0.38		
1 換気量			3.0	0.50	3.0	0.33		
2 自然換気性能			-	-	3.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮			3.0	0.50	3.0	0.33		
4.3 運用管理			-	-	-	-		
1 CO ₂ の監視			-	-	-	-		
2 喫煙の制御			-	-	-	-		

Q2 サービス性能				0.30	-	-	2.4	
1 機能性				2.2	0.40	2.0	1.00	2.0
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	2.0	0.60	
1	広さ・収納性			-	-	-	-	
2	高度情報通信設備対応			-	-	2.0	1.00	
3	バリアフリー計画			3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性				1.0	0.30	2.0	0.40	
1	広さ感・景観 (天井高)			-	-	3.0	0.50	
2	リフレッシュスペース			-	-	-	-	
3	内装計画			1.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理				2.5	0.30	-	-	
1	維持管理に配慮した設計			3.0	0.50	-	-	
2	維持管理用機能の確保			2.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性				2.5	0.30	-	-	2.5
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50	-	-	
1	耐震性(建物のこわれにくさ)			3.0	0.80	-	-	
2	免震・制震・制振性能			3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数				2.8	0.30	-	-	
1	躯体材料の耐用年数			3.0	0.20	-	-	
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	省資源		2.0	0.20	-	-	
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	省資源		3.0	0.10	-	-	
4	空調換気ダクトの更新必要間隔	省資源		3.0	0.10	-	-	
5	空調・給排水配管の更新必要間隔	省資源		3.0	0.20	-	-	
6	主要設備機器の更新必要間隔	省資源		3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性				1.0	0.20	-	-	
1	空調・換気設備			1.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備			1.0	0.20	-	-	
3	電気設備			1.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法			1.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備			1.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			3.0	0.30	3.0	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり			-	-	3.0	0.50	
1 階高のゆとり			-	-	3.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ			-	-	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			-	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	1.00	-	-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.1
1 生物環境の保全と創出	緑化		1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮	緑化		3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30	-	-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	雪処理		2.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上	省資源 緑化		2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	2.7
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	2.9
1 建物外皮の熱負荷抑制	省エネ		3.0	0.20	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用	省エネ		3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化	省エネ	[BEI][BEIm] = 0.99 -	2.9	0.50	-	-	2.9
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			-	-	-	-	
4.1 モニタリング	省エネ		-	-	-	-	
4.2 運用管理体制	省エネ		-	-	-	-	
集合住宅の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング	省エネ		3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制	省エネ		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.4
1 水資源保護			2.2	0.20	-	-	2.2
1.1 節水			1.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.3	0.60	-	-	2.3
2.1 材料使用量の削減	省資源		3.0	0.13	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用	省資源		-	-	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	省資源	-	3.0	0.25	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	省資源	-	1.0	0.25	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材	省資源		2.0	0.13	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	省資源		3.0	0.25	-	-	

3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
1 消火剤	省資源		-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)	省資源		3.0	1.00	-	-	
3 冷媒	省資源		-	-	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.6
1 地球温暖化への配慮	省資源	ライフサイクルCO2排出率が一般的な建物より少ないため	4.1	0.33	-	-	4.1
2 地域環境への配慮			1.6	0.33	-	-	1.6
2.1 大気汚染防止	省資源		3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善	省資源 熱化 蓄熱処理		1.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			1.7	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減	省資源		1.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制			2.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制	省資源 電処理		1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			2.1	0.33	-	-	2.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	0.50	-	-	
2 振動			3.0	0.50	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			1.6	0.40	-	-	
1 風害の抑制			1.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			1.0	-	-	-	
3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			1.6	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			1.0	0.70	-	-	
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	



重点項目 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2016v1.0

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2016(ver.1.4)

1 建物概要		BEE	0.6	BEEランク	B ⁻
建物名称	(仮称)南15条西7丁目MS				
建物用途	物販店,集合住宅				
延床面積	2,387.1 m ²				

2 重点項目への取り組み		レーダーチャート	
地球温暖化対策	最重点項目 省エネルギー	★★★★☆	<p>★1=スコア(最低点~最高点)20%以下 ★2=スコア(最低点~最高点)20%~40%以下 ★3=スコア(最低点~最高点)40%~60%以下 ★4=スコア(最低点~最高点)60%~80%以下 ★5=スコア(最低点~最高点)80%以上</p>
	省資源等	★★★☆☆	
	緑化	★★★☆☆	
	雪処理	★★★★☆	

3. 重点項目のCASBEEスコア					
A 省エネルギー (最高点 23.5 最低点 7.4)				合計	13.9点 /23.5点
Q1 温熱環境	スコア	0.8 /1.4	LR1 建物外皮の熱負荷抑制	スコア	2.4 /4.0
Q1 光・視環境	スコア	1.3 /2.1	LR1 自然エネルギー利用	スコア	1.2 /2.0
			LR1 設備システムの高効率化	スコア	5.8 /10.0
			LR1 効率的運用	スコア	2.4 /4.0
B 省資源等 (最高点 23.9 最低点 7.3)				合計	12.6点 /23.9点
Q2 耐用性・信頼性	スコア	0.6 /1.1	LR2 非再生性資源の使用量削減	スコア	4.3 /9.0
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	0.9 /2.3	LR2 汚染物質含有材料の使用回避	スコア	1.3 /2.1
			LR3 地球温暖化への配慮	スコア	4.1 /5.0
			LR3 地域環境への配慮	スコア	1.4 /4.4
C 緑化 (最高点 15.3 最低点 3.1)				合計	5.9点 /15.3点
Q3 生物環境の保全と創出	スコア	0.9 /4.5	LR3 地域環境への配慮	スコア	0.5 /2.5
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア	3.6 /6.0			
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	0.9 /2.3			
D 雪処理 (最高点 3.0 最低点 0)				合計	2.0点 /3.0点
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	1.0 /1.0	LR3 地域環境への配慮	スコア	1.0 /2.0

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■重点項目の**最高点**は、各評価項目で**レベル5**で評価された場合の点数
 ■重点項目の**最低点**は、各評価項目で**レベル1**で評価された場合の点数